

阿波市議会だより

第44号

年4回発行
[平成29年9月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会
〒771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田 201 番地 1
TEL. 0883-36-8750 FAX. 0883-36-8764
ホームページアドレス <http://www.city.awa.lg.jp/gikai/>

平成29年第1回 阿波市議会臨時会の概要

第1回臨時会が5月19日に開かれ、平成29年度阿波市一般会計補正予算、専決処分、人事案件など市長提出議案の概要と提案理由の説明があり、いずれも可決・承認・同意しました。

平成29年第2回 阿波市議会定例会の概要

第2回定例会は、6月5日から6月26日までの22日間の会期が開かれました。開会日には表彰状の伝達があり、全国市議会議長会から原田定信議員、木村松雄議員が表彰され、江澤信明議員に感謝状が贈られました。また、四国市議会議長会から木村松雄議員、原田定信議員、岩本雅雄議員、阿部雅志議員、松永渉議員、藤川豊治議員が表彰されました。

続いて藤井市長から、阿波市戦没者追悼式、阿波市まち・心・しごと創生本部有識者会議、阿波市消費生活センター開設等についての行政報告と、四国市長会議における国への要望事項や、知事・市町村長会議での意見交換について説明がありました。

また、平成29年度一般会計補正予算、条例の一部改正などの議案について概要と提案理由の説明がありました。

代表・一般質問は6月14日から16日の3日間にわたり行われ、12人が市政全般について理事者の考えを問う、子育て支援、教育・福祉・建設関係、財政等について議論しました。19日に文教厚生、20日に総務、21日に産業建設の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。

閉会日には、委員長による各常任委員会の審査報告があり、市長提出議案をいずれも可決しました。

追加議案として、人事案件9件の提出があり、全て同意しました。

代表質問

岩本 雅雄 議員
(阿波みらい)



ある。実施に当たっては地方創生推進プロジェクトチームを立ち上げ、より効果的、効率的な事業推進を図っている。

問 平成30年度から県が国保運営の中心的な役割を担うとされているが、制度の見直し内容は、また、今度の予定は。

答 保険の給付に必要な経費は県が支払い、市は国保加入者の資格管理、保険給付手続きなど、きめ細かい事務事業をこれまでどおり行う。市町村が県に収める納付金や標準保険料率は調査検討中である。

榎原 伸 議員 (阿波清風会)



問 4月に就任された政策監の阿波市の印象と今後の抱負について

答 自然豊かなまちで行政と生産者一体となって農業立市に取り組んでいるのははじめ市民の一体感が感じられる。市長が掲げる市民と歩む輝くまちづくりに向けて努力する。

問 阿波市総合戦略はどのような進捗状況であるのか。また、今後の事業の進め方は。

答 総事業数74事業のうち、平成28年度は55事業、平成29年度はほぼ全ての事業を実施予定で



問 農地集積の実績。

答 農地中間管理機構と連携し、現在22ヘクタールの農地を担い手に集積。本年より新たに農地利用最適化推進委員が設置されることから更なる推進を図る。本市における相続未登記農地は約140ヘクタールで、農林水産省も相続人の同意数を減らすといった条件緩和を進めているところであり、所有者不明の場合に多い遊休農地の再生に向けて国、県、他の自治体とも連携を図りながら進めていきたい。

木村 松雄 議員 (志政クラブ)



問 本市の商業、工業の振興策についてはどのように捉えているか。

答 本市の商業、工業を取り巻く環境は大きく変化しており、新たな視点に立った地域経済を牽引する方策の検討が強く求められている。本市の商業、工業を一体的に捉え多様な方策を積極的に推進することで、持続的かつ安定的な商業、工業の発展、地域経済の成長や活性化につなげていかなければならない。阿波市商工会の育成や支援、また経営の安定化に向けた各種融資制度周知と活用促進、商工会をはじめとする関係機関との連携強化を図りながら、既存企業の体質強化や改善、企業誘致などを一体的に進めていきたい。

問 本市の将来を担う若者に市長からのメッセージは。

答 若者には若さゆえできること、若くなければできないことが数多くあると思うが、自分の可能性を信じどんどん新しいこ

谷 美知代 議員 (阿波みらい)



問 自立支援・介護予防に向けての取り組みについて地域住民が中心となった支えあい活動や、地域力をどのように生かしているのか。

答 生活支援体制整備事業を平成30年4月の開始に向けて実行委員会が協議しているところであり、地域資源やさまざまな団体、民間サービスなど地域力を生かしながら、住民・高齢者が地域の担い手となり活躍できる体制づくりを進めていく予定としている。

一般質問

川人 敏男 議員 (志政クラブ)



問 アルファなど植物中心の行政を行い、起債残高(借金)は231億円。維持費のかかる箱物、大型インフラは凍結しては、ソフト事業を中心としたまちづくりを目指す。また健全な財政運営に努める。

答 アルファなど植物中心の行政を行い、起債残高(借金)は231億円。維持費のかかる箱物、大型インフラは凍結しては、ソフト事業を中心としたまちづくりを目指す。また健全な財政運営に努める。

問 新庁舎とアルファの外壁タイルが剥がれ、さらに外部建築士の調査で不良箇所・欠陥箇所が95箇所も判明した。建築士等

答 今議会で新たに小規模耕作

吉田 稔 議員 (阿波清風会)



問 学卒者の本市へのU・Iターン者について奨学金返還支援を検討したいと以前からの答弁であったが、新市長が決まり、方針は決定されたか。

答 阿波市の人材確保と定住促進を図る目的で実施したい。本市に在住し、平成29年4月1日以降に各種奨学金の返還を開始された方。助成額は申請年度に返還する額の3分の2で上限が10万円。5年間で最大50万円となる。ただし、農業に従事される方は全額で上限が20万円、5年間で最大100万円の助成とする。

問 湿地や半湿地の一毛田が耕作放棄地の中で多数見受けられる。乾田化し、活用される農地に転換する支援策はできないか。

答 今議会で新たに小規模耕作

稲岡 正一 議員 (阿波みらい)



問 農家の育成、農業人口減少に歯止めをかけるよい策はあるか。

答 総合戦略の事業の一つとして担い手や農家の中心となる経営体の育成を行う阿波市就農スタート研修を開始。第2次農業振興計画についても、小規模・中規模・大規模農家の方々の意見もお聞きし進めていきたい。

基盤改善事業を提案している。農地区画拡大のための畦畔除去や湿地対策として明渠や暗渠整備の事業費の2分の1として最高15万円の補助を予定しており活用していただきたい。

問 伊沢谷川の下流域に雑木が林の如く茂り、豪雨災害が心配される。県土整備部の第一人者である政策監に期待しているが

答 県によれば、今年度より川の流れを阻害している樹木を計画的に伐採してくれるとのこと。

